



石口 智志  
水曜会  
(70分)



保育士の確保と処遇改善は

**問** 出生率の増加にブレーキがかからないような保育行政を望むが、本年度の成果と次年度に向けた新たな取り組みは。

**答** 保育士確保については、潜在保育士の掘り起こしに向けた新たな取り組みとして、昨年7月に保育士募集フェスタを開催した。保育補助者雇上強化事業や保育士確保促進事業などにも継続して取り組んでおり、昨年10月末現在で保育補助者115人、保育士6人の確保につながっている。

保育士等の処遇改善については、本市独自の職員給与等改善費に加え、国の制度に基づき、昨年2月から賃金改善を行うことで離職率の抑制や職場復帰の促進につながっている。今後は、現在実施している事業のさらなる効果検証を行うとともに、新たに保育体制の強化に係る制度を導入することにより、業務負担の軽減および確保につなげていく。



喜田 紘平  
水曜会  
(60分)

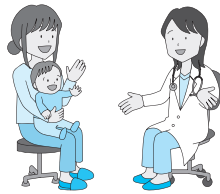


子ども医療費助成制度は

**問** ①所得制限により制度の対象外となる子どもたちはどの程度か。また、制限の見直しなどの考えは。  
②中核市の所得制限の状況は。

**答** ①1割弱とみている。今後さらなる福山ネウボラの強化に向け効果的な支援策となるよう、制限の撤廃も含め検討する。  
②約8割の自治体が制限を設けていない。

放課後児童クラブの開設時間は



**問** ①現在、市内のほとんどのクラブが18時までだが、開設時間延長の考えは。  
②他市町の状況は。

**答** ①延長に向けて利用者のニーズ調査を実施する。その結果を踏まえ、地域性や開設時間、サービス内容等の検討を進める。  
②厚生労働省が行っている全国調査によると、平日の終了時刻が18時を超えるクラブは、全体の80・9%である。



木村 素子  
水曜会  
(60分)



本市のPR政策は

**問** ①(仮称)福山城応援大使を立ててPRする理由は。  
②福山アンバサダー制度の成果と今後は。

**答** ①築城400年事業が終了した後も市内外に向けて、福山城の価値や魅力に対する理解や関心を深めていくための情報発信に継続して取り組む必要がある。そのため、福山城に対する理解が深く、幅広い世代に対して発信力の強い著名人に福山城のPRに協力をお願いするものである。  
②昨年11月末現在で1097人に登録いただいている。お気に入りの風景やグルメ、市から提供したイベント情報など、本市の魅力や市内外に広く発信していただいております。投稿数は延べ5万7千件を超えている。今後はアフターコロナを見据え、アンバサダーの相互交流や意見交換の場を設けるなど活性化を図り、より一層効果的な情報発信につなげていく。



あなたも福山アンバサダーに!

※福山アンバサダー制度：福山が大好きで、情報発信意欲のある人を「福山アンバサダー」として認定している。その人が、自身のSNSにハッシュタグ「#福山アンバサダー」を付けて投稿することで、福山の情報や魅力を発信する取組